

令和6年度 自己評価シート（年中・年長児）

西 風 園

【ねらい】

1人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。

No.	内 容		自己評価
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています。		○→5
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいおよび内容を設定している。		◎→1 ○→4
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		◎→1 ○→4
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		○→4
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上および保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、園内外の研修に積極的に参加し、研修を通して必要な知識や技術の修得、維持および向上に努めている。		○→5
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容、また指導上配慮を必要とする乳幼児に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎→2 ○→3
7	子ども1人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	① 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎→3 ○→2
		② 温かい言葉遣いで、穏やかに話している。	◎→2 ○→3
		③ 自分の思いを表現する力が、まだ十分でない子どもの気持ちを汲み取っている。	◎→2 ○→3
		④ 禁止、命令や行動をせかしたり、自信を失わせるような言葉や態度はできるだけ控えている。	◎→1 ○→4
		⑤ 「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	◎→3 ○→2
		⑥ 子どものサインを見逃さず対応している。	◎→1 ○→4
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		◎→1 ○→4
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	① 子ども同士の関係をより良くするような言葉かけをしている。	◎→2 ○→3
		② けんかの場面では、状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	◎→3 ○→2
		③ 年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	◎→3 ○→2
		④ 子どもが保育士の手伝いをしたり、友達を助けたり、協力し合う場を設定している。	◎→1 ○→4
10	①	保育士自身が楽しんで保育をしている。（楽しそうな表情ができる）	◎→3 ○→2
	②	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。（保健・衛生）	◎→2 ○→3
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、1人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の指示や協力の下に、適切に対応している。		◎→1 ○→4
12	保護者との連携が十分に取れている。	① 1人ひとりの保護者と子どもの成長の喜びを共有している。	◎→3 ○→2
		② 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	◎→3 ○→2
		③ 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明することができる。	◎→2 ○→3
		④ 子育てに関する相談、援助に対応することができる。	◎→1 ○→3 △→1
		⑤ 支援を要する保護者に対して、適切に対応することができる。	○→3 △→2
		⑥ 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎→2 ○→3
13	地域との連携の在り方がわかる。	① 関係機関との連携のとり方を知っている。（保健センター、民生委員、子育て支援課など）	○→3 △→2
		② 地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○→4 △→1
		③ 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○→5

記入方法：◎よくできている ○まあまあできている △あまりできていない ×できていない (5名)

反省点	非常勤職員が、支援を要する保護者に対する対応に難しさを感じている。	改善策	研修を重ねながら個人の資質向上に努めると共に、個人ではなくチームとして対応することを再確認する。
-----	-----------------------------------	-----	--